

平成 25 年度 東成区 区政運営の振り返り（保健福祉部会）

☆経営課題ごとの取組実施状況☆

経営課題 1 区民主体の地域経営・公共サービスの推進

多様な世代の区民や地域団体、NPO、企業などが地域コミュニティに参画し、地域課題の解決、地域の維持・発展に取り組む、継続・発展可能な地域経営の仕組みとする必要がある。

○主な戦略・具体的な取組内容

【1-2 公共サービスの民間委託、情報流通・資金流通の仕組み構築による CB/SB 等の支援】

区事業を民間委託し、区民が福祉、教育、医療などの公共サービスを行い、収入を得られる事業化を支援する。また、地域活動協議会などの区民の組織や商業等の事業者など、区民が情報を掲載し、情報・活動資金を得られる仕組みをつくとともに、ボランティア活動の活性化を目的に導入する地域通貨により、区内で資金が流通する仕組みをつくる。

②「おもりネット事業」を活用した高齢者・障がい者等支援セーフティネット構築事業【予算額 23,986 千円】**業績目標**

- ・有償ボランティアの活動件数 100件

取組実績

- ・福祉イベント（11月3日）での有償ボランティアの活動：229件
- ・有償ボランティア講座 参加者延84人。東成区ボランティア・市民活動センターと連携し、有償ボランティアの登録と先進的な団体への見学、情報収集を開始。

目標
達成

**課題と改善策等**

- ・【課題】有償ボランティア講座は定員を超える参加があり、区民の関心の高さが表れた。その新しい担い手となり得る人たちを、今後の有償ボランティアをはじめとした地域福祉活動に結びつける仕組みの充実が必要である。
- ・【改善策】区民ボランティア意識のさらなる醸成と、新たな担い手を発掘し、地域福祉活動へ結びつけていく。[26年度運営方針に反映]



かさずきん

経営課題 2 区民との連携・協働によるまちづくりの推進

区役所と区民の協働によるまちづくりの取り組みをより効果的に進めるために、区民による地域活動や情報交流などの場と機会を充実させ、活動の活性化を図る必要がある。

○主な戦略・具体的な取組内容

【2-2 地域のまちづくり活動の支援】

個別の地域課題解決に向け、区民や区内の各種団体がこれまでの枠組みにとらわれず連携し、協働しながらさらに自由に活発な活動ができるよう支援する。

さらに、区域・市域を越えた広域的な市民ネットワークによる地域資源の発掘を行う。

④区地域福祉推進支援事業〔予算額 454 千円〕**業績目標**

- ・ワークショップにおけるアンケートで、地域とのつながりやきずながより一層大切と感じた方が60%以上

取組実績

- ・アンケート結果 98%
- ・5校下においてワークショップを実施。

目標
達成

**課題と改善策等**

- ・【課題】今後、さまざまな場面を想定して、つながりの必要性を多くの区民に発信し、地域福祉の課題に向けて一層協働を強めていく必要がある。
- ・【改善策】広報紙等を活用し、つながりの必要性や地域福祉についての啓発を充実させるとともに、地域課題の解決に向けたさまざまな場を設ける。[26年度運営方針に反映]

⑥区民健康づくり対策事業〔予算額 532 千円〕**業績目標**

- ・ボランティア団体と連携して開催する講座の参加者数：1,000人以上

取組実績

- ・ボランティア団体と連携して開催する講座の参加者数（35回）1,325人
- ・健康づくり講演会126人、地域健康講座（35回）709人、夜間連続講座（延16回）延489人、健康展50人、健康づくりフォーラム延106人（22組の親子含む）、連絡調整会議（2回）41人

目標
達成

**課題と改善策等**

- ・【課題】ボランティア団体と連携した講座等の取り組みは、参加者増に繋がり有効である。
- ・今後、普及啓発活動を各種健診（検診）の受診者増等、区民の健康推進にどう繋げていくかが課題である。
- ・【改善策】健康への関心を高めるため保健師が全地域に草の根的に出向き、啓発活動を展開するとともに、東成区地域保健・地域福祉ビジョンに基づく地域生活支援システム専門分野別実務者会議（健康づくり推進）などの場で議論し取り組んでいく。[26年度運営方針案に反映]